



ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会 〒251-0026 藤沢市鵠沼東3-2 秩父宮記念体育館内
URL <http://www.fujisawa-taikyo.org/>

第36回 スポーツ人の集い

主催 藤沢市体育協会・藤沢市・藤沢市教育委員会
共催(公財)藤沢市みらい創造財団

令和2年度第36回「スポーツ人の集い」は、昨年の12月時点で新型コロナウイルス感染症が拡大傾向になつていことから、例年通りの開催ではなく、第一部講演会、第三部祝賀会を中止とさせていただきます。式典(表彰式)のみを開催させていただきますこと調整をいたしました。

しかしながら、年が明けまして、令和3年1月7日に政府より発令された緊急事態宣言を受け、コロナ感染状況の終息が見込めないこと、感染防止への政府方針や藤沢市の対応を鑑みて、受賞者の皆様ならびにご列席者の皆様の安全確保を最優先に考え、令和3年2月12日に予定しておりました式典開催も中止とさせていただきます。
なお、このたびの受賞者及び受賞団体の皆様につきましては、授与品の発送をもって表彰式にかえさせていただきます。

体育功労者の皆様には令和3年度に開催するスポーツ人の集い祝賀会にご招待させていただきます。これまでのご尽力に感謝の意を表したいとお伝えをしております。

本年度は日頃から第一線や指導で活躍されている28組の方々、藤沢スポーツ賞を受賞されました。誠に改めてとうございませす。受賞者の皆様のさらなるご活躍を祈念申し上げます。
(佐藤)

体育功労者

飯田 昭(野球)



約40年に亘り、指導者及び役員として学童野球の発展に尽力され、中学生の野球や社会人野球の運営にも携わり、県大会などにも足を運んでいます。

近年は、審判員養成にも力を入れており、自ら実践での指導に当たっています。

灰野 辰男(空手道)



長年にわたり、副理事長として連盟の発展と運営に尽力されています。若き頃、拳勝館荏原支部を立ち上げ、選手として活躍し、現在は指導者として青少年の育成に尽力されています。

栗原 英昭(体操)



昭和60年の協会開設当初から理事長に就任し、体操新体操競技の普及・振興に尽力されました。協会発足時から事務局長として協会内部をよく取りまとめ、理事長としても幾多のイベント(国際試合等)を成功させたりこれまでの業績は枚挙にいとまがありません。

一方、人材育成の面では若手の指導者を育てられ、今日の体操協会の基礎を築き上げられました。

ここ10年間の業績では協会主催「体操教室」を市内小学校体育館で開設し、多くの子どもたちの運動感覚づくりを展開されています。

優秀選手

岡 泰我(陸上)

JOCジュニアオリンピックカップ
(全国高等学校陸上競技大会2020)
高校男子八種競技 優勝

阿部桃子(山岳・スポーツクライミング)

第8回リードユース日本選手権
ユースA(2003~04生まれ) 3位

伊藤寛太郎(山岳・スポーツクライミング)

第6回ボルダリングユース日本選手権
ジュニア(2001~02生まれ) 3位

松藤藍夢(山岳・スポーツクライミング)

第6回ボルダリングユース日本選手権
ユースA(2003~04生まれ) 1位

岡田爽良(ヨット)

2020年度JOCジュニアオリンピックカップ兼JSAFジュニア・ユースセーリングチャンピオンシップ
(ジュニア部門)レーザー4.7クラス 1位
(ユース部門) 3位



服部陸太(ヨット)

2020年度JOCジュニアオリンピックカップ兼JSAFジュニア・ユースセーリングチャンピオンシップ
(ユース部門) Laser Radial 男子クラス 1位

2020 Laser All Japan Championships
ラジアルクラス 3位

小菅敬子(バウンドテニス)

第15回関東ブロックバウンドテニス選手権大会
女子シングルスフリーの部 優勝

堀 木綿子(バウンドテニス)

第15回関東ブロックバウンドテニス選手権大会
女子シングルスミドルの部 優勝

木下茂子(バウンドテニス)

第15回関東ブロックバウンドテニス選手権大会
女子シングルスニアの部 優勝

木下茂子・日下部恵子(バウンドテニス)

第15回関東ブロックバウンドテニス選手権大会
女子ダブルスニアの部 優勝

石井美紀・笠原信子(バウンドテニス)

第15回関東ブロックバウンドテニス選手権大会
女子ダブルスミドルの部 優勝

熊谷天馬(カヌー)

カヌーホーム全国小学生標準偏差ZOOMカヌー大会 高学年男子カヤック 2位

溝垣丈司(自転車)

第4回全日本BMXフリースタイル選手権大会 メン13-15歳クラス 優勝

■優秀団体

桜倶楽部Aチーム(ソフトテニス)

田中真希子・堂野愛佳・押野美咲
和田夏実・檜山ちはる・加藤 楓

第27回全日本クラブソフトテニス選手権大会 3位

桜倶楽部Bチーム(ソフトテニス)

堀越あき穂・堀越ほの香・菊地ひかる
鍋倉由希・二椛木葉月・小澤恵里

第27回全日本クラブソフトテニス選手権大会 3位

■敢闘選手

福田桃色(陸上)

第54回神奈川県中学校総合体育大会
第73回神奈川県中学校陸上競技大会
女子走高跳 優勝

濱田琉誠(山岳・スポーツクライミング)

第7回関東小中学生選抜クライミング選手権大会 神奈川県代表選手選考会 兼
ジュニア強化選手選考会 男子 1位

望月萌叶(山岳・スポーツクライミング)

第7回関東小中学生選抜クライミング選手権大会 神奈川県代表選手選考会 兼
ジュニア強化選手選考会 女子 1位

井上璃音(空手道)

第15回彩の国杯全国中学生空手道選抜大会
神奈川県予選会 形 中学1年生女子 優勝

六戸珠子(空手道)

第15回彩の国杯全国中学生空手道選抜大会
神奈川県予選会 組手 中学1年生女子 優勝

山口 麗(空手道)

第15回彩の国杯全国中学生空手道選抜大会
神奈川県予選会 組手 中学2年生女子 優勝

芦田湘海(カヌー)

神奈川県カヌー・スプリント選手権大会
小学生男子カヤックシングル 1位

鮫島陽太(カヌー)

神奈川県カヌー・スプリント選手権大会
小学生5-6年生男子普及艇
カヤックシングル 1位

宮木清子(カヌー)

神奈川県カヌー・スプリント選手権大会
マスターズ女子カヤックシングル 1位

■敢闘団体

鶴沼高等学校女子バスケットボール部

吉田歩加・平田清翔・横山季晴
後藤葉の佳・中西菜桜・小野冬優香

小石川結・山村里緒・中條涼奈

茂 海風・出澤仁胡・大西梨子

岸本風香・野坂 葵・岩切ゆめの

令和2年度神奈川県高校秋季大会兼
ウインターカップ予選 優勝

全国高校ラグビー大会

藤沢市出身選手大活躍

記念すべき「第100回全国高校ラグビー大会」が年末年始に東大阪花園ラグビー場で開催され、100回記念大会として神奈川県優勝の桐蔭学園と準優勝の東海大相模の2校が出場しました。

両校の中には藤沢ラグビースタールでラグビーを学び指導を受けた選手が活躍していました。

決勝で京都成章を32-15で下した2年連続通算3度目の日本一に輝いた桐蔭学園の青木恵斗選手(高浜中出身)は高校生離れした身長187センチ、体重110キロの巨体で決勝では勝負を決める2連覇の立役者でした。

一方、5大会ぶり9回目の全国大会出場の東海大相模は3回戦で御所実(奈良)に12-21でベスト8進出を逃したが藤沢ラグビースタール出身の吉田蓮、米元悠翔、河野吏玖らは高校ラグビーの聖地「花園」で勝利の喜びと敗戦の悔しさの経験を後輩たちに伝え授けることでしょう。

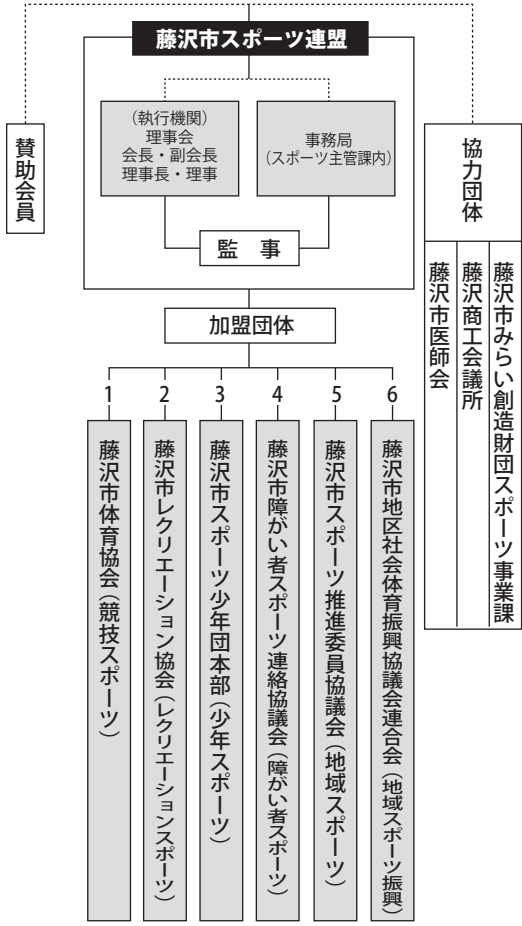
藤沢市で育った青少年ラグビーの皆さん、今後の活躍と飛躍を期待しています。

(藤沢市在住ラグビーファン)



2連覇に貢献した桐蔭学園のLO青木恵斗選手(高浜中出身)

藤沢市スポーツ連盟 組織図



「藤沢市スポーツ連盟」今年度四月一日発足

スポーツ連盟 理事長 八幡満夫

令和3年4月1日、「藤沢市スポーツ連盟」が発足しました。

「スポーツ連盟」を立ち上げるために平成27年10月に「体育協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団本部、地区社会体育振興協議会連合会、スポーツ推進委員協議会」の5団体が「それぞれの活動を尊重しながら、大きな塊を創り、スポーツを通して市民の健康増進、体力向上に寄与できれば」という強い願いで5年間話し合いを重ねました。

また平成30年には、スポーツ団体を統合し、「スポーツ協会」を設立した秦野市・小田原市に訪問し、設立までの過程や成果、課題等について直接アドバイスを受け、それを参考にさらに議論を深めて参りました。そして2020東京オリンピック・パラリンピックに設立が間に合うよう精力的に議論を進めた結果、昨年10月の設立準備委員会で「スポーツ推進課及び6団体（障がい者スポーツ連絡協議会）は昨年8月より参加」で合意に至り、「藤沢市

スポーツ連盟」の名称で正式に発足しました。

「スポーツ連盟」の目的を規約第3条に次のように位置づけました。

「藤沢市における、競技スポーツ、地域スポーツ、レクリエーションスポーツ、障がい者スポーツなど、各団体間における情報交換及び相互協力を行い、市民の健康増進及び体力向上と、スポーツ・レクリエーション活動の普及推進を図るとともに、藤沢市のスポーツ推進施策の実現に努める」としました。

課題は山積してはいますが、林良雄初代会長を中心に、当面は、毎年11月に行われる「スポーツ祭り」を共同開催し、実績を作りながら、団体間の情報共有や連携強化を図り、目的達成のために6団体が一致団結して力を発揮して参りたいと考えています。何卒「スポーツ連盟」が今後大きく発展できますようご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「コロナ禍での協会の取組

神奈川県を含む1都3県に発出されている緊急事態宣言は、首都圏の状況が十分に抑制されていないことなどから、3月21日まで延長されました。藤沢市の感染者数は、1月は1013人、2月は139人というように、急増した1月と比較すると大幅に減少しています。宣言の延長を受け、藤沢市の施設は一部を除き休止されています。

ただ、屋外のスポーツ施設は、感染のリスクが低いと考えられることから、8日から条件付きで再開されました。

野球、テニス、サッカー、ラグビー、ビーチバレー、グラウンド・ゴルフなど屋外でのスポーツを楽しむ皆さんにとっては、待ちに待っていたお知らせであると思います。

宣言が解除されれば、屋内スポーツ施設についても順次再開されることと思えます。

様々なスポーツを愛好する子ども世代から、学生、成人、高齢世代までの皆さんが集まる体育協会では、国や各スポーツ団体が示しているイベント実施の際の感染症対策を着実に実行しながら、各協会が事業を行うことが重要であると考えています。

新年度が始まるにあたり、感染症対策を参加者全員が行い、健康の維持と増進のために、スポーツする喜びをかみしめたいと思います。

(広報部会：杉測)

令和二年度賛助会員

個人77件 団体43件

■個人会員のご芳名(順不同・敬称略)

- 加藤一・沼上晃・武井英雄・齋藤拓也・小林邦芳・檜山建宇・鈴木紳一郎・栗原英昭・栗原幸浩・石曾根和幸・林修司・藤田俊造・廣川亜希子・新村幸裕・栗原義夫・神崎治彦・永島修治・吉田淳基・荒井勝男・山田康章・桐生昭代・露木初枝・青木正己・遠藤浩・川路久男・市川和広・松長泰幸・木村三男・山本共恵・笠井萌・野尻孝之・猪村彰・植村守・佐藤和義・丹野靖久・壽山伸幸・三輪修大・東谷聡子・柳沢真生・井田勝・大里建次・高塚良彦・中島嘉一・与安義昭・小菅春夫・川副一郎・山本博・大島進・飯屋繁子・小泉亜弥・杉勲・古郡健・前川幸雄・田口元明・木藤晴彦・佐野野まゆみ・杉照美・田村詔男・勝西智子・飯田栄一・桜井忍・波多野和敬・宮本隆弘・中村智・石井洋秀・宮本隆・三保谷修二・小川明・福田光春・阿部守・古屋元氣・井上広男・野田豊子・野田勇二・宮脇英雄・大井正信・小堺幸子・鈴木和子

■団体会員のご芳名(順不同・敬称略)

- 射撃協会(㈱櫻井興業レストランふじ・横浜日野自動車㈱)・体操協会・自転車協会・空手道連盟・中央機工㈱・ラグビーフットボール協会・グラウンド・ゴルフ協会・剣道連盟・修武会・スケートボード協会・バスケットボール協会・サーフィン協会・水泳協会・ハンドボール協会・山岳スポーツクライミング協会・アーチェリー協会・陸上競技協会・バウンドテニス協会・弓道協会・ゲートボール連合・柔道協会・佐々木材木店・テニス協会・野球協会・ダンススポーツ連盟ソフトテニス協会・ボウリング協会・バドミントン協会・バレーボール協会・卓球協会・太極拳連盟・サッカー協会・サッカー協会社会人委員会・サッカー協会高校委員会・サッカー協会中学委員会・サッカー協会少年委員会・サッカー協会女子委員会・ヨット協会・スキー協会・ゴルフ協会・カヌー協会

(加盟団体については藤沢市略) 本年度もご入会いただきありがとうございます。

第73回 ウインターカップを終えて

全国高等学校バスケットボール選手権大会

(Soft Bank ウインターカップ2020)

令和2年12月23日

東京体育館・武蔵野の森総合スポーツプラザ



鶴沼高校女子バスケットボール部

絶対にはずしは一勝して、今まで支えてくれたすべての人に恩返しをしたい、そう強く思ってた。試合開始直後、相手が保持しようとしたボールをスティールして先制

バスケットボールをする人誰もが憧れる夢の舞台・ウインターカップ。私たちはあの舞台で戦ったんだ。そして、鶴沼高校女子バスケットボール部の歴史を塗りかえたんだ。眩しいくらいにコートを照らす照明、ピカピカと光る整備された床、1チームに1つボールカゴが用意されている最高に整った環境でバスケットをするのはものすごく楽しかった。アップをしているときから楽しすぎて思わず笑みがこぼれた。今わたしは、前にテレビでみていたコートに立っているんだと思うと夢のような時間だった。



大会結果

- 1回戦 鶴沼 78—48 高岡第一(富山)
- 2回戦 鶴沼 66—101 大阪桐蔭(大阪)

点を決めた。体が自然と動いていた。自分でも気づいたらシュートを決めていて驚いた。それほど集中していたのだと思う。今思えばあの先制点は自分たちのチームを勝利へと導く大事な2点だったのかもしれない。あの緊張感の中でシュートを決められたことは自信につながった。二日目は伝統校大阪桐蔭との試合。序盤から伝統校としての強みを見せつけられた。何もできなくて悔しかった。でも、最後までやり切れたから悔いはない。この大会を通じて、全国の舞台に立たないと体感できないことをたくさん経験できた。だからこそ、来年はより一回り強くなった鶴沼で全国を戦い抜いてくれることを期待している。(岸本)

藤沢市剣道連盟

新型コロナウイルス感染症防止策として 様々な対策を講じて活動再開



稽古に励む剣士の皆さん

藤沢市剣道連盟では、感染を未然に防ぐ為、ガイドラインの作成と遵守・励行で活動再開を再開致しました。

PCに向かって素振り、摺り足などをするといった従来、行なっていた事がない指導方法・活動をしたことで、指導者並びに受講者の成長に繋がりました。

緊急事態解除後は、基本を重視とした級位審査会の実施と青少年少女による錬成会を盛会に開催する事ができました。

今まで経験のないこの状況を乗り越え更なる飛躍を求める青少年少女に大きなエールを送り続けてまいります。そして新型コロナウイルス感染症が早期に終息する事を祈っております。(藤沢市剣道連盟)

編集後記

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が、3月21日まで延長され、市内の体育施設の使用も、引き続き制限されています。このような状況下でも、感染防止対策を工夫しながら練習されている姿に励まされます。

3月25日から、2020東京オリンピックの聖火リレーが始まります。

未だ、どの様な形で開催されるのか分からない状況ですが、江の島でのセーリング競技に備えて、しっかりと準備したいものです。

(子田・山口・清水・平山)

また、稽古前の健康チェックと記録の保存、定期的な換気と休憩を取り入れ、稽古後には手洗いうがいの励行と使用場所の清掃・消毒・剣道用具を清潔に管理するなどの策を講じています。

緊急事態宣言中は年間の主催行事を自粛・中止にしましたが、各支部毎では、オンラインによる稽古会を実施して、剣道談議と、